



# シルバーカービート

## [取扱説明書] (保管用)

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

**!** この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません)

使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し、購入されることをお薦めします。

なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、十分ご理解された上、ご使用ください。

### 目次

ご使用前の注意(点検).....1	腰掛け方.....5
警告事項.....1	傘止めバンドの使い方.....5
シルバーカーの各部の名称.....2	こんな時には.....5
車体のひろげ方.....3	ご注意事項.....6
車体の折りたたみ方.....3	環境.....6
駐車用ストッパの操作方法.....3	使用中.....6
ハンドルの高さ調節.....3	使用后.....6
カゴ受けの操作方法.....4	保管・お手入れ方法.....6
ハンドブレーキの操作方法.....4	保全.....6
ブレーキの調整.....4	廃棄.....6
キャスターの操作方法.....4	SGマーク.....7
袋部の使い方.....5	保証書.....7

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点や、ご質問などがありましたら、弊社サービス係、または、ご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、  
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には、この製品の使用を中止してください。また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

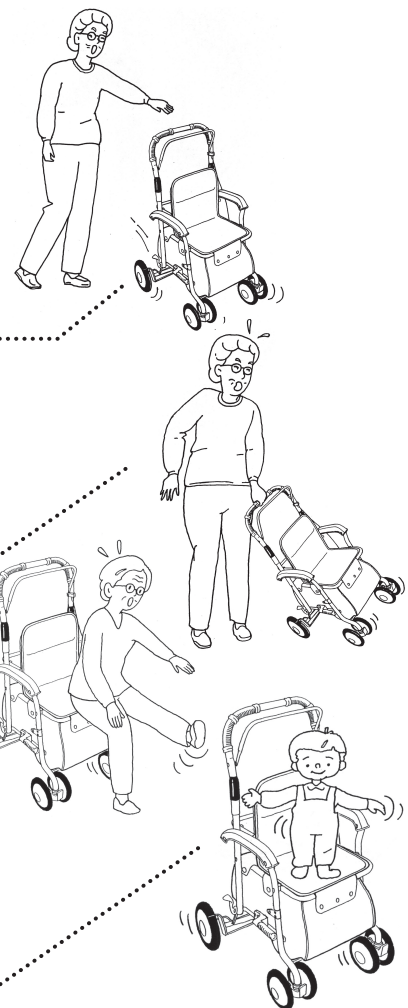
転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

**⚠️ ご使用前の注意(点検)**

- 広げる時などの開閉操作を行う際には、幼児を近づけないでください。
- 組立調整は確実に行ってください。
- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキ、駐車用ストッパ及び左右両輪の性能についてはご自身で充分確認してください。
- タイヤ及びブレーキの摩耗等がないかを保守・点検し、必要に応じて調整又は交換してください。
- 各部のカシメ鉋、ネジ、ナットがゆるんでいないか確認してください。
- 使用前に必ず左右の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください。固定用ロックがかかっていると車体が折りたたまれ大変危険です。
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか確認してください。
- 最大使用者体重は100kgです。体重が100kg以下の方に限ります。必ずお守りください。

**⚠️ 警告事項(思わぬケガの恐れがあります)**

- 雨、雪、凍結等すべりやすい所では使用しないでください。
- 階段や溝、段差のある所、エスカレーター等では使用しないでください。
- 交通の頻繁な所、混雑している所及び夜間の使用は充分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがあります十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 線路を横断される場合、段差に充分注意して下さい。特に警報機が鳴った時に慌てて転倒したり、車輪が溝にはまったりして大変危険な場合がありますので、付き添いをつけて横断されることをおすすめします。
- ハンドルに寄りかからないでください。寄りかかると車体だけが前に行き転倒する恐れがあります。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパを左右両輪に掛け、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してゆっくりとおこなってください。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
- 幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。



# 各部の名称

## ビート

使用時サイズ：約H81～89.5×W50×D63cm

収納時サイズ：約H76.5×W50×D34.5cm

座面高さ：約46cm

重量：約6.4kg



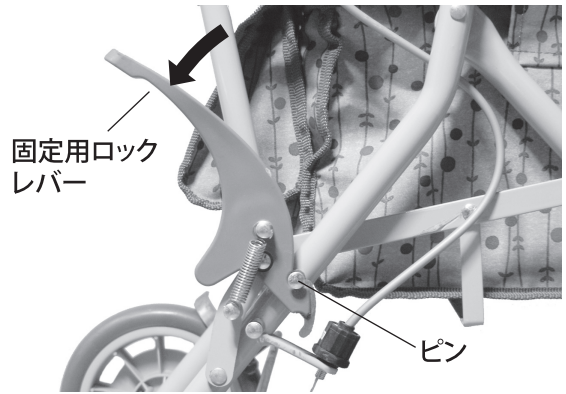
折りたたんだ状態



## 車体のひろげ方



ハンドルとフタ(座)前部を持ち図の様に矢印の方向に広げてください。ブレーキワイヤーなどが引っかかり広がらない場合がありますので、注意してください。

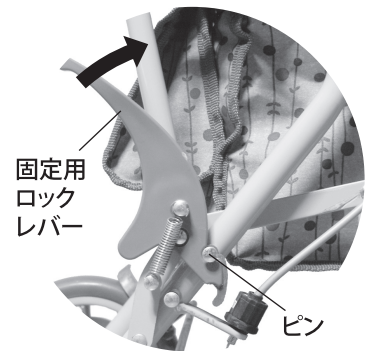


固定用ロックがピンに確実に掛かっているか確認してください。

- 注** ● 固定用ロックが確実に掛かっているか確認してください。ロックが掛かっていない場合、使用中に、不意に折りたたまれる場合があります。大変危険です。

## 車体の折りたたみ方

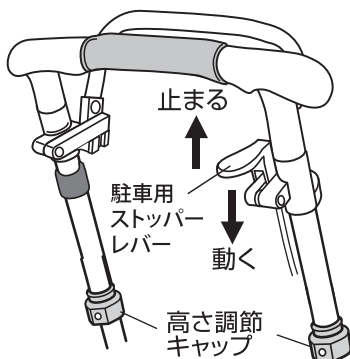
1. 固定用ロックレバーを上げて、ピンからはずします。
2. ハンドルとひじかけ部の2カ所を持って、内側にはさみこむように折りたたみます。



- 注** ● 袋部や小物入れに物を入れたまま閉じないでください。  
● 指をはさむ危険がありますので、折りたたむ時は充分注意してください。

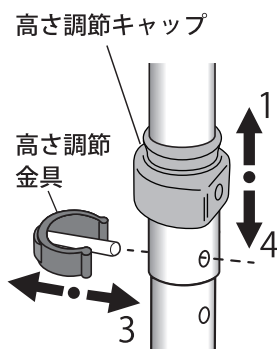
## 駐車用ストッパーの操作方法

1. 駐車用ストッパーレバーを上にとると、後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパーレバーを下に降ろすと、ロックが解除されます。



- 注** ● ストッパーのかかった状態(後輪がロックされた状態)で車体を押さないでください。  
● 座る場合や車からはなれる場合は、必ずストッパーを掛けてください。  
● 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けしないでください。

## ハンドルの高さ調節

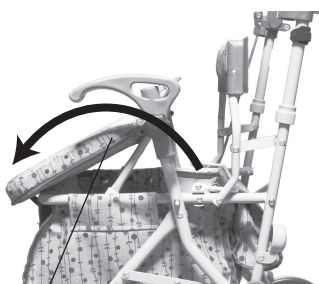


1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節ピンを抜いてください。
3. 4段階の中から、お好みの高さに合わせて、左右の高さ調節ピンをしっかりとめ込んでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

- 注** ● 左右同じ高さであることを確認して固定してください。  
● 高さ調節ピンをはめ込んだ後、必ず高さ調節キャップを元の位置に戻してください。  
● 高さ調節を行う際、高さ調節ピンを落とさないように注意してください。  
● ガタつき、フレームが動かないか、確認してください。

## カゴ受けの操作方法

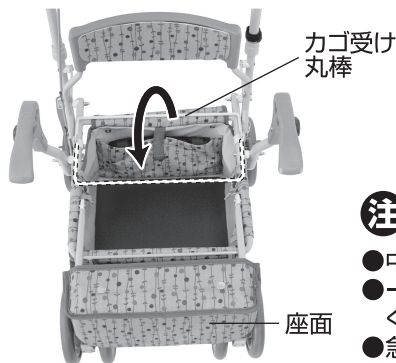
**1** ベーシックな座面上開きと、前に開く2WAY仕様です。前に開く場合は、座面の後を持ち上げながら座面を前面に移動させます。



座面

座面を前に倒すと広く使えます。

**2** 座面を降ろし、カゴ受けフレームを後から前に倒します。この状態でカゴを載せます。

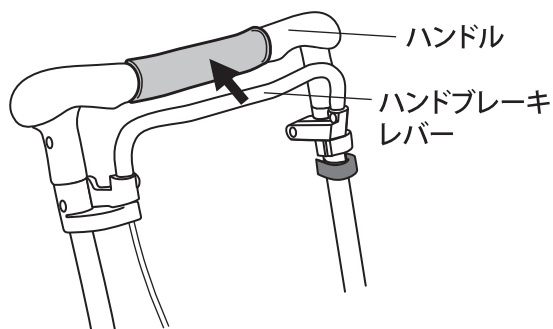


**注**

- 中央にしっかりとカゴを載せてください。
- 一般道などでは使用しないでください。バランスをくずしてカゴが落ちる恐れがあります。
- 急に曲がるとバランスをくずす恐れがあります。
- 取りつけるカゴの大きさを確認してください。(カゴの底面の大きさは、縦約27cm・横約40cmまでです)



## ハンドブレーキの操作方法



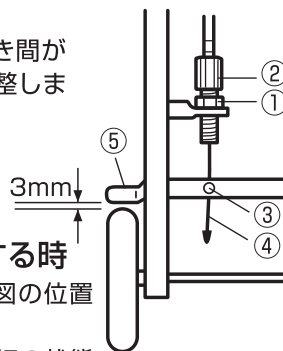
ハンドブレーキレバーをにぎれば、後輪にブレーキがかかります。

**注**

- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
- ブレーキは構造上、自動車のブレーキのように効かないので過信しないでください。
- ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキが効きにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

## ブレーキの調整

ブレーキ金具と車輪のすき間が3mm位になるように調整します。



### ■ブレーキをきつにする時

②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。

なお不十分な時は、②を最初の状態に戻し、③をゆるめてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、③を締めてください。

### ■ブレーキをゆるくする時

①をゆるめてください。

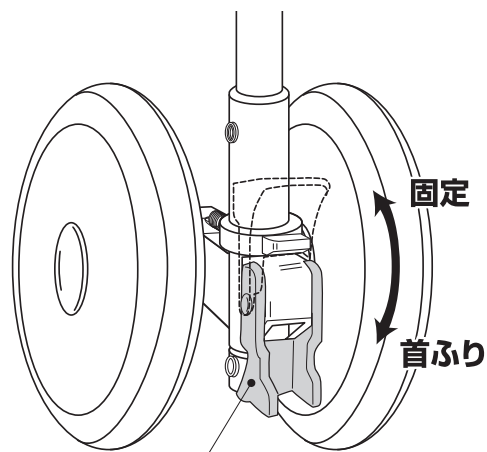
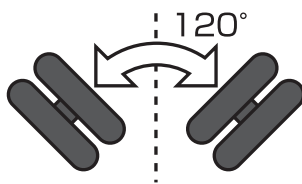
②を回して調整してください。

## キャストターの操作方法

キャストター回転止めを下すと、曲がる方向に力を入れれば左右各 60° の角度で車輪が方向転換します。直進状態でキャストター回転止めを上げるとロックがかかります。(方向転換ができなくなります)

**注**

- キャストター回転止めが左右同じ状態かを確認してください。



キャストター回転止め

## 袋部の使い方

1. 座面前部を上へ持ち上げて開いてください。



### 座面2WAY開閉

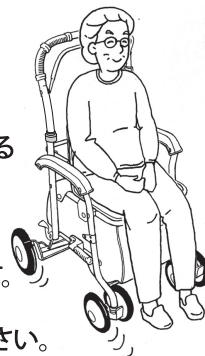
座面を前に倒すと大きな荷物も入れやすくなります。(前頁の「カゴ受けの操作方法」を参照)

- 注**
- 袋部には10kgを超える荷物を入れしないでください。
  - 袋部に荷物を入れたままで折りたたまないでください。

## 腰掛け方

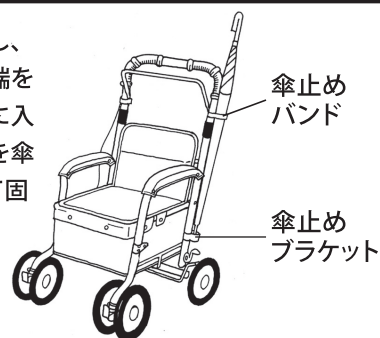
**注**

- 必ず駐車用ストッパを掛けてからお座りください。
- 腰掛ける時は、均等に体重が加わる様に座面の中央にお座りください。
- 浅く座ったり、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれる恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は100kgです。
- 体重が100kgを超えられる方はご使用になれません。



## 傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外し、傘・ステッキの先端を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘・ステッキに巻いて固定してください。



## こんな時には…

状況	原因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	① 左右の固定用ロックが確実にかかっていない ② ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	① 両側の固定用ロックが確実にかかっているか確認してください ② ハンドルの高さ調節部分の固定金具が、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストッパまたはハンドブレーキが利かない	① バネの劣化 ② 車輪の摩耗 ③ 車輪の破損 ④ 連結部のサビ ⑤ ブレーキワイヤーの折れ曲がり ⑥ ブレーキ金具の曲がり・破損	① バネの交換(ご購入販売店に依頼) ② 車輪の交換(ご購入販売店に依頼) ③ 車輪の交換(ご購入販売店に依頼) ④ 潤滑油を注油する ⑤ ブレーキワイヤーの交換(ご購入販売店に依頼) ⑥ ブレーキ金具の交換(ご購入販売店に依頼)
キャスターが回転しない	① キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ② バネの劣化	① キャスターを手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ② バネの交換(ご購入販売店に依頼)

その他、車輪や車体の破損・異常が発生した場合、そのままご使用にならず、ご購入販売店に点検・修理・パーツの交換を依頼してください。



## ⚠️ ご注意事項

### 〈環境〉

- 雨風の強い時、また傘を持ちながらの片手では使用しないでください。
- 火の近くでの放置はしないでください。樹脂が変形し、性能を維持できなくなります。
- 自動車、バス、電車の中では使用しないでください。
- 砂、泥のある場所、特に水たまりでは使用しないでください。また、放置しないでください。

### 〈使用前〉

- ご使用に際して、体調の状態によっては、危険な場合もありますので、ご自身の体調の状態でご使用できるかご判断ください。

### 〈使用中〉

- 使用される時は、必ず左右の固定用ロックレバーがピンに確実に掛かっているか確認してください。
- 用途以外には使用しないでください。
- 開閉などの操作時には、幼児や子供を近づけないでください。
- 10kg を超える重さの荷物を袋部に入れしないでください。
- 最大使用者体重は 100kg です。(体重が 100kg 以下の方に限られます)
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 座面以外の所には座らないでください。
- ハンドルとハンドブレーキの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
- 傘を持ちながら等、片手での使用はしないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 座面を踏み台として使用しないでください。
- 駐车用ストoppaがかかった状態で押さないでください。
- 袋部以外の所に荷物を載せたり、吊るしたりしないでください。
- 車体からはなれる時は、必ず駐车用ストoppaをおかけください。
- ハンドルには寄りかからないでください。寄りかかると車体だけが前に行き、転倒するおそれがあります。
- 袋部に物を入れたまま折りたたまないでください。
- 車体を閉じる時は、手をはさまないように注意してください。
- 腰を掛ける場合は、必ず駐车用ストoppaを左右両輪にかけてご使用ください。
- 袋部内に乳幼児や動物を乗せたり、座面に人を乗せたまま移動しないでください。

### 〈使用后〉

- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因となります。
- 雨水にぬれた場合は、拭きとってください。
- フレームに砂や泥をつけたまま放置しないでください。

### 〈保管・お手入れ方法〉

- 車輪についた泥や汚れなどは、そのまま放置しないで、必ず落としてください。
- よく絞った布で、土やほこりを拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないでください。
- 乾いた布で水分を取り、日陰で乾燥してください。
- 袋部の汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 車輪や車体がきしむ場合、連結部等に数滴注油してください。  
(注油後、開閉操作を2・3回くりかえしてください)
- 長時間使用しない時は、汚れを落とし、日陰で保管してください。
- 寒い時、暑い時戸外に置かないでください。袋部が変色したり、硬化して開閉できなくなることがあります。
- 説明書は本体とともに保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡してください。

### 〈保 全〉

- 非常口、消火器、消火栓の前に放置しないでください。
- 各部の破損、ゆるみ、磨耗がないか確認してください。
- 幼児や子供の手の届く所には放置しないでください。
- 当社のサービス員以外の分解、組立、改造はしないでください。

### 〈廃 棄〉

- 廃棄については各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

※製品改良のため、仕様・外観は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

MADE IN TAIWAN 19.05



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5  
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書